

<b>1 学校教育目標</b>	<b>2 本年度の重点目標</b>
一生懸命がかっこいい！みんなの夢に一步前進！ ～笑顔いっぱい！一人一人のよさが輝く学校～	① 基礎・基本の確実な定着と学力の向上 ② 地域の力を利用した特色ある教育活動の推進 ③ 校内研究の充実と教師の資質向上 ④ 豊かな心と体の育成 ⑤ 業務改善・教職員の働き方改革の推進

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛

<b>3 目標・評価</b>						
<b>①基礎・基本の確実な定着と学力の向上</b>						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	●学力の向上	・基礎学力の定着	・北波多小基礎学力テストで合格率80%以上を目指す。	・主体的・対話的な学習を取り入れた「北波多小型授業」の定着と改善を図り、「わかる授業づくり」の取組をする。	学び部	坂口
		・学習習慣の定着	・学びの約束の指導の徹底を図る。 (児童・教職員のアンケート肯定85%以上)	・「北波多小学びの約束」を全校に提案し、基本的な学習習慣が身につくまで全職員で取り組む。 ・「家読」の取組を学校側からも積極的に保護者に働きかける。	学び部	砂原
<b>②地域の力を利用した特色ある教育活動の推進</b>						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
学校運営	○地域や家庭との連携	・学校支援ボランティア連絡協議会を中心とした地域連携の一層の推進 ・学校教育活動の積極的な情報発信	・学校支援ボランティア連絡協議会を開催する。 ・学校評価アンケートで肯定的評価85%以上を目指す。	・「生活アンケート」調査から学年の傾向を知り、保護者と連携して改善に取り組む。 ・学習活動に合った学校支援ボランティアとの連携を推進する。 ・学校便りやホームページを活用した広報活動の充実を図る。	地域連携	真島
<b>③校内研究の充実と教師の資質向上</b>						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	○校内研究の充実と教師の資質向上	・友だちと認め合い高め合いながら、自分で考えることのできる児童の育成	・授業研究会を開催し、人権が尊重される授業づくりの視点を取り入れた“深い学び”の実践を行う。	・全学級において、主体的・対話的で深い学びの推進と人権教育の視点を取り入れた授業研究会を実施する。 ・講師を招聘し、理論と実践ふまえた研修会を開催する。	研究主任	松尾
<b>④豊かな心と体の育成</b>						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	●心の教育	・自発的、自治的かつ協力する態度の育成	・集団の中で積極的に活動する態度、協力する態度を伸ばす。児童による自己評価85%以上を目指す。	・学校行事・集会行事・学級経営等の取り組みに「自己肯定感を育てる」というめあてで一貫した活動を仕組む。 ・「かがやきタイム」の充実を図り、「仲間づくり」に視点を置いた取り組みを実践する。	特活部	遠矢
	●いじめ問題への対応	・「いじめは絶対に許さない」という思いをもって行動する態度の育成	・いじめの早期発見、早期対応に取り組む。	・「いじめに関するアンケート」を実施する。 ・アンケート結果の活用、日常の観察、子ども支援協議会、連絡会での情報交換を行う。 ・携帯電話、スマートフォンの正しい使い方について啓発を行う。	生活部	波戸内
	●志を高める教育	・自分の夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	・児童による自己評価で「学校目標を達成できた」という児童85%以上を目指す。	・学校目標と関連付け、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。年度当初に今年1年の自己目標を立てさせ、振り返り活動を取り入れながら取り組ませる。 ・一人一人に出演や役割をもたせ称賛しながら、所属感や達成感を味わえる経験を積ませる。	教務部	坂口
	●健康・体づくり	・運動習慣の改善や望ましい生活習慣の形成	・アンケート調査から運動習慣について、教師による自己評価85%以上と児童による自己評価85%以上にする。	・児童がめあてを意識しながら取り組む学習を実践する。 ・体力テストの結果を考察し、基礎的体力の向上を考えた体づくりの内容を充実させる。	保体部	緒方
<b>⑤業務改善・教職員の働き方改革の推進</b>						
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・勤務の効率化と時間外業務の削減	・徹底した業務改善を進める。 ・時間外業務45時間をこえない。	・定時退勤日の確実な実施を図る。 ・行事の準備や会議の効率化を図る。 ・特に事情がない限り、19時には勤務を終了する。	研究主任	真島

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目